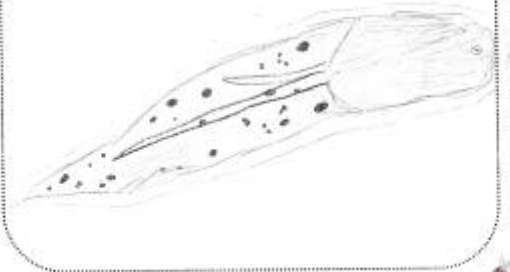


ふるさと水辺の生き物教室 観察日誌

5年 前:井上 颯和

おたまじくし = 後ろ足が出てから前足が出る。 おたまじくし = オス、メスある。



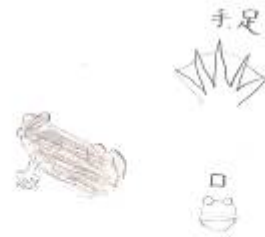
わたしは、生き物教室をやったのが苦手だったので少しだけ好きになりました。そして、た虫をよく観察していると同じ種類のカエルでも少しだけちがう色や形が、大りしてひくりました。一番ひくりましたのは、たにしの教が入っているとおたまじくしにオスとメスがあるという事です。たにしが少なくなるという事は、ホタルも少なくなるという事なのでそうなることもとても悲しいです。おたまじくしにオスとメスがある事は知りませんでした。カエルなら知っていたので、おおきくひくりました。わたしはこれから生き物を大切にしていける人がふえたらいいなと思います。そのためにもまずわたしから、生き物を大切にしたいです。わたしの心の中で生き物教室は一生のたから物になりました。今はありがたい気持ちでいっぱいです。



ふるさと水辺の生き物教室 観察日誌

5年 前:大森 日南子

ぬまカエル



私は生き物教室をして、生き物の名前などをたくさん知って、生き物がいっぱいいることをたくさん知りました。

生き物教室で特に心に残っていることは、モグラが田んぼのまわりにいるということ。モグラの手は、けっこう大きくてかわいかったです。私は、カエルの絵をかきました。カエルは、北足に水かきがついていて、おもしろい形でした。私は、とのおさまがカエルではなくて、ぬまカエルを書きました。カエルがにがてだったので、一番大きいカエルよりも、少し小さいカエルのほうがよかったです。

今、生き物がいっぱい、外来種が入っていると、わたしの心で、できることがあたら、1つでもやりたいです。

生き物教室をやる前よりも、生き物が好きになりました。

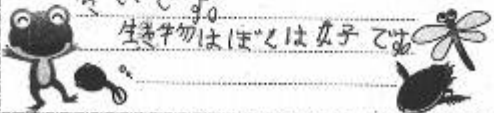


ふるさと水辺の生き物教室 観察日誌

5年 組 三才 大ノ町



まず田に行きました。田にはコイがい
ました。あとみずがきれいでした。
次に魚をしらべました。魚の名前はナマ
はフナだけと書いてた。コイでした。
生き物教室をしてはくは田に生き物が
みんなにあるとは初めて知りました。
ここで生き物をとって食べたいと思
います。
川の生き物は食べたいところはあるけ
で、少ない生き物は食べたいところがないの
で、夏休みにきれいな川に行き、魚を
食べたいです。
「多くの住んでいるよ。きれいな
な生川なので、生き物教室で発表され
た生き物がいたらおしえます。
でもほとんどの川がきれいがないので、ま
ごもろまごのつを、きれいな生川の魚を
たいてます。
生き物はほとんどの女子です。」



ふるさと水辺の生き物教室



《野村地区の田んぼや水路の役割》

野村小学校の周辺には田んぼが広がり、肱川から取水した水路が流れています。

みなさんが毎日食べているお米の栽培には、たくさんのお水が必要です。川から田んぼへ水路を通して水を引き、お米がつくられています。

田んぼや水路は、安定した食料を産み出すためのとても大事なもので、決して農家の人たちだけのものではなく、地域全体の財産でもあります。



野村地区の田んぼ

【田んぼや水路の多様な機能】

田んぼや水路は、食料を供給する役割だけでなく、農業が営まれることにより、以下のような農業・農村の環境保全に関わる様々な機能を発揮しています。

★雨水の保水・貯留による洪水防止機能

畦畔に囲まれている水田や水を吸収しやすい畑の土壌は、雨水を一時的に貯留し、時間をかけて徐々に下流に流すことによって洪水の発生を防止・軽減させている。

★地下水かんよう機能

水田にかん水された用水や雨水が、徐々に地下に浸透して地下水を貯えるほか、直接河川を流下するより長い時間をかけて下流の河川にもどされるため、再び下流域で利用することができる。

★土壌浸食防止機能

水田に張られた水は、雨や風から土壌を守り、浸食を防ぐ役割があるほか、畑地の作物は被覆効果を発揮するなど、下流域への土壌の流出を防ぐ働きがある。

★生物多様性の保全機能

水田や畑には多様な生物が生息しており、自然との調和を図りながら、営農が行われ、水田や畑が適切かつ持続的に管理されることにより、植物や昆虫、動物等の豊かな生態系を持つ二次的な自然が形成・維持され、多様な野生動植物の保護にも大きな役割を果たしている。

★良好な景観の形成機能

大地に育った作物と農家の家屋、その周辺の水辺や里山が一体となって醸し出す独特の雰囲気を有する景観を形成している。

このように、田んぼや水路は、いろんな役割を通して『人と自然とのつながり』をつくっていきます。古くから受け継がれてきた農村環境や農業用施設を、農家の方とみなさんの協力で大切に守っていきましょう。

※ 事故にご注意ください ※

河川や農業用水路などは、普段は安全に見えても、降雨時は一気に水量が増すことがあります。危険と書いているところには近づかないようにし、増水時の河川などへの立ち入りは十分注意してください。

